

# 甲斐市立竜王東小学校 自己評価書

平成30年1月18日(木)作成

校長 大柴 剛一

記述者 教頭 岡 こずえ

## 学校教育目標

### 人間性豊かで主体性に富んだ児童の育成

- (1) よく考え、進んで学ぶ子ども(自主性, 創造性)
- (2) きまりを守り, 思いやりのある, 心豊かな子ども(社会性, 道徳性, 情操性)
- (3) じょうぶでたくましく, 最後までやりぬく子ども(健康な心身, 強い意志)

## 学校経営方針

- (1) 多様な学習指導と幅広い教育活動の展開及び組織的, 継続的な評価と改善
- (2) 問題解決的, 体験的な活動の展開, オープンスクールとしてボランティアなどの人的資源を活用した確かな学力の育成
- (3) 言語環境を整備する中で好ましい人間関係を育成し, 生き方の基礎を培う生徒指導の推進
- (4) 学校, 保護者, 地域との連携を図った健康と安全の保持増進
- (5) 学校, 保護者, 地域との連携を図った児童の「安全・安心・安定」を基盤とし, 信頼され開かれた学校づくりの推進

## 1 全体評価

今年度の自己評価の概要を次のようにまとめることができる。

- ・学校経営方針に基づいた適切な学校教育目標が設定され, 「チーム竜王東小」としてその目標実現に向けた学校経営, 学年・学級経営が行われている。
- ・職員間での意思疎通を大切に, 報告, 連絡, 相談, 確認が全体として機能しており, 学校経営が適切に行われている。
- ・PDCAサイクルを確実に実行し, 常に次年度に向けた改善を意識した教育活動が展開されている。
- ・校舎内外の施設設備の安全性の確保にむけて努力している。児童の安全を確保するために危機管理マニュアルが整備され, 月に一度の安全点検等を確実に実行している。
- ・学習指導に関しては個に応じた学習と基礎・基本の定着を図る学習が工夫されている。
- ・主体的・対話的で深い学びの視点から授業研究を行い, 校内研究においても積極的に取り組んでいる。
- ・児童理解のためにコミュニケーションを図り, 児童の健全育成のために学校・保護者・地域・関係機関との連携が図られている。
- ・児童の健全育成のために, 学校・保護者・地域・関係機関との連携を図るとともに問題行動の未然防止と早期発見・早期対応に努めている。
- ・学校の特色や取組の状況を保護者・地域に示し, 協力を得られるよう配慮している。
- ・保護者の学校評価結果では昨年度と同等もしくは上昇傾向にあり, 家庭の教育力が向上してきている。地域・家庭が連携し, 学校教育のより一層の向上を目指したい。

2 項目ごとの評価（達成状況・改善策）

\*A：そう思う＝4点 B：ややそう思う＝3点，C：ややそう思わない＝2点，D：そう思わない＝1点とし，全員の評価結果を集計し，小数点以下1桁で数値化し，項目ごとの平均値及びA～Cまでの3段階評価を行い，前年度との比較を行った。

I 学校教育目標に関して・学校経営について

達成状況

- ・7項目中全ての項目について，概ね良好である。年度当初の職員会議において，「安全・安心・安定」をキーワードに学校教育目標並びにそれに基づく経営方針を示し，普段の教育活動において，職員一人ひとりがこれらについて意識できた結果であると考え。また，行事等をはじめ，学期ごとに成果と課題を教務主任が総括し，常に反省をいかした教育活動ができるシステムも定着してきたと言える。

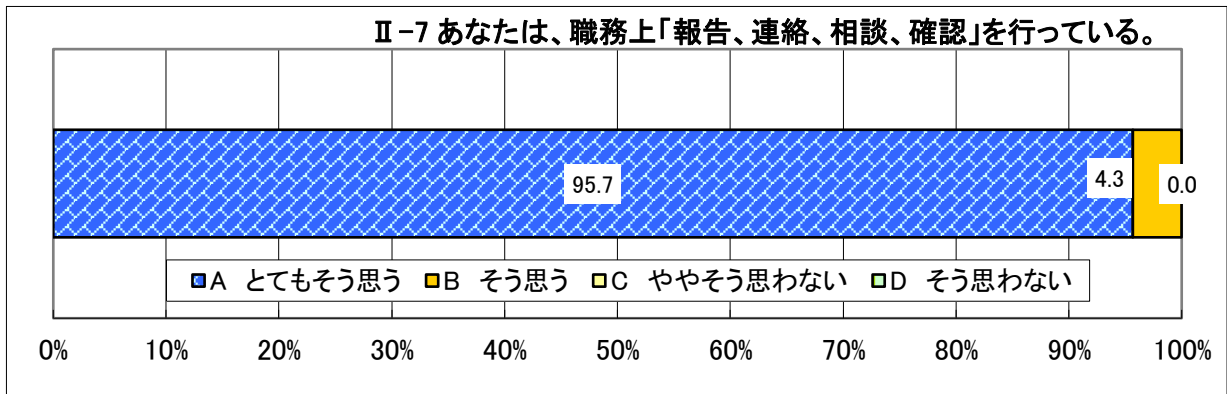
改善策

- ・教職員一人ひとりが学校経営方針を十分に理解し，今後も各ブロック・学年・学級の実態に即した教育活動を相互に連携しながら推進していく。
- ・PDCAサイクルを生かした教育活動をより一層推進していく。
- ・勤務時間の中で効率よく成果をあげるための手立てを推進し，健康について各自が自己管理できるようにする。また，職場の多忙化，多忙感が職務に支障をきたすことがないように，管理職が注意を払い，未然防止に努める。

II 学校運営について

達成状況

- ・職務上の報告，連絡，相談，確認を確実にを行い，職場相互の信頼関係も概ね良好である。
- ・「職員会議に積極的に関わっている」の項目が0.2ポイント上昇した。
- ・27年度からの推移をみると，全体的に右肩上がりでの良好な傾向である。



改善策

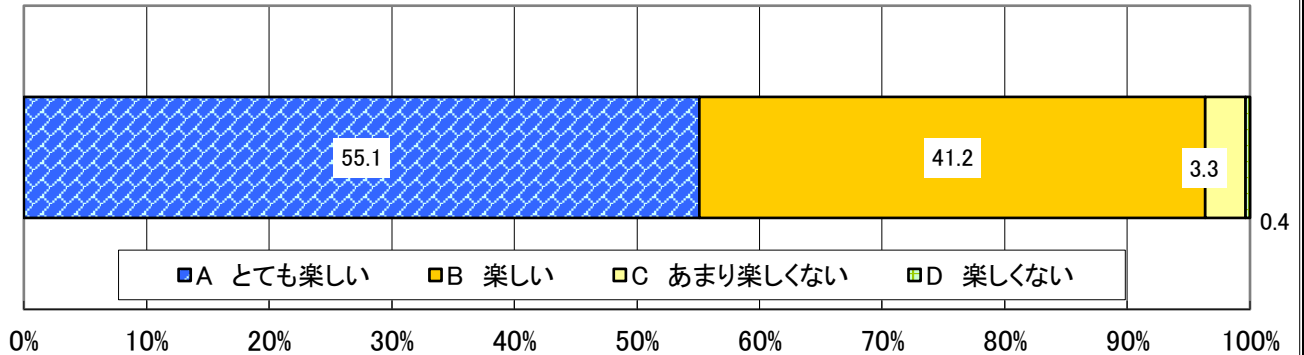
- ・全体的に評価が上がったとはいえ，「危機管理(防犯，防災，事件，事故等)マニュアルを理解している」に関しては，想定外の事態が発生した場合，現状ではまだ認識不足であることも否めない。今後は「予告なし訓練」を不定期に行い，教職員の危機管理マニュアルの理解や危機管理意識をさらに高めたい。
- ・校内研究(研修)に主体的にかかわり，学校全体として授業改善に取り組んでおり，それなりの成果も見られる。平成29年3月に小中の次期学習指導要領が告示されたことを受け，平成32年度の本格実施に向けてカリキュラム・マネジメントの実現を図りたい。

### Ⅲ 学習指導について（児童・教師・保護者用アンケート等も含めて）

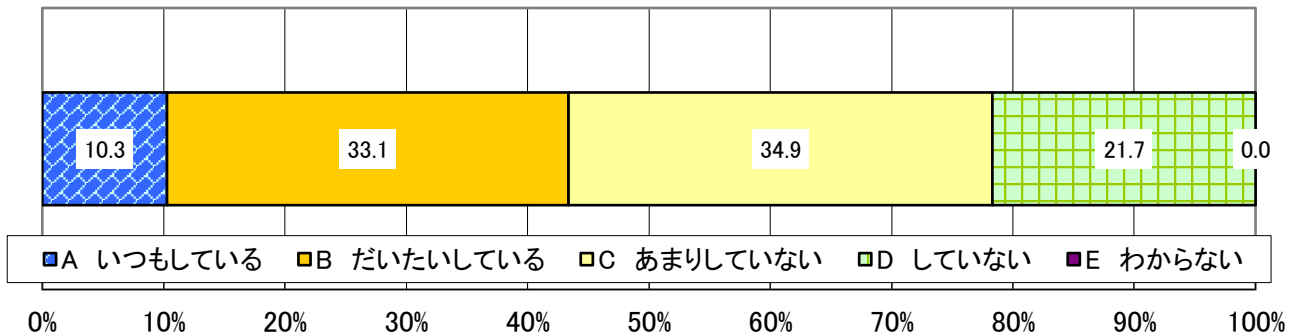
達成状況

- ・教師評価の8項目全てが昨年度の平均数値よりも大幅に上回っており、特に「児童の学びの意欲を喚起する授業を行っている」の項目については、0.7ポイントと著しく上昇した。
- ・「民主的で規律ある学級・学年・学校集団づくりを行っている」、「基礎・基本の定着を図る授業を行っている」、「個に配慮した授業を行っている」に加え、ICTを活用した教材・教具の工夫がなされたことで、27年度からと比較すると飛躍的に上昇し肯定的評価となった。このような教師の姿勢が、児童にとって「学校の授業は楽しいですか。」で肯定的回答が96%という高い割合となっていると思われる。

Q5 学校の授業は楽しいですか。



Q13 お子さんは、宿題の他にも家庭で自主学習（学校からの指示は含む、但し、塾や家庭教師は、除く）をしていますか。



改善策

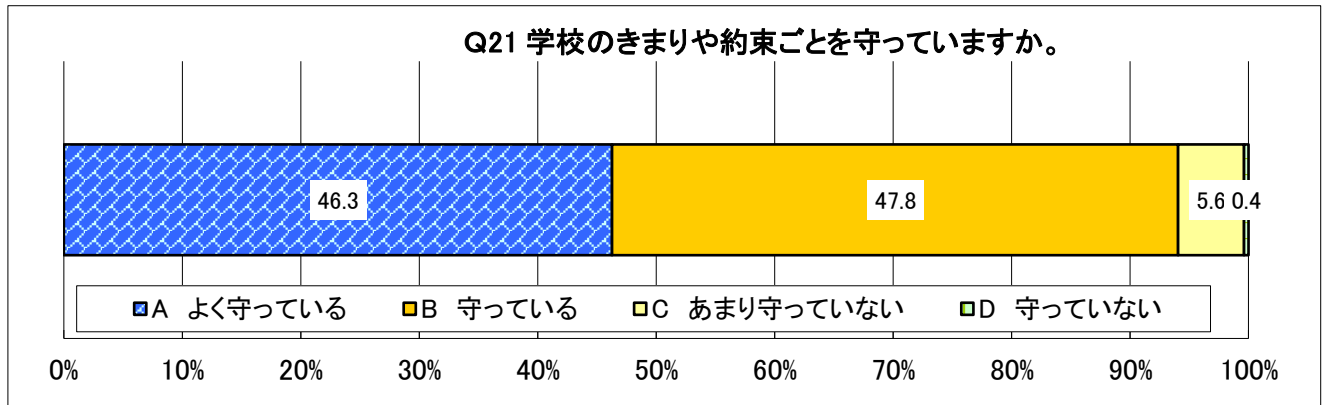
- ・教師や保護者の評価が高い割には、児童の伸びが今ひとつである。今後は児童の実態に応じた弾力的で魅力的なカリキュラム・マネジメントを行い、個に応じた指導の充実に配慮するとともに校内研究会を中心に尚一層の授業改善を推進していく。
- ・「学びの甲斐善八か条」を活用し、毎月8のつく日は家庭とも連携し、家庭学習の時間の確保と、習慣化について粘り強い指導を行う。
- ・教師個人の力量を高めるための研修の機会を大切にし、日頃から教師間で学び合う風土を醸成する。
- ・管理職による日常的な授業観察を通して、指導・助言を継続して行う。

IV 生徒指導について（児童用アンケート・保護者アンケートも含めて）

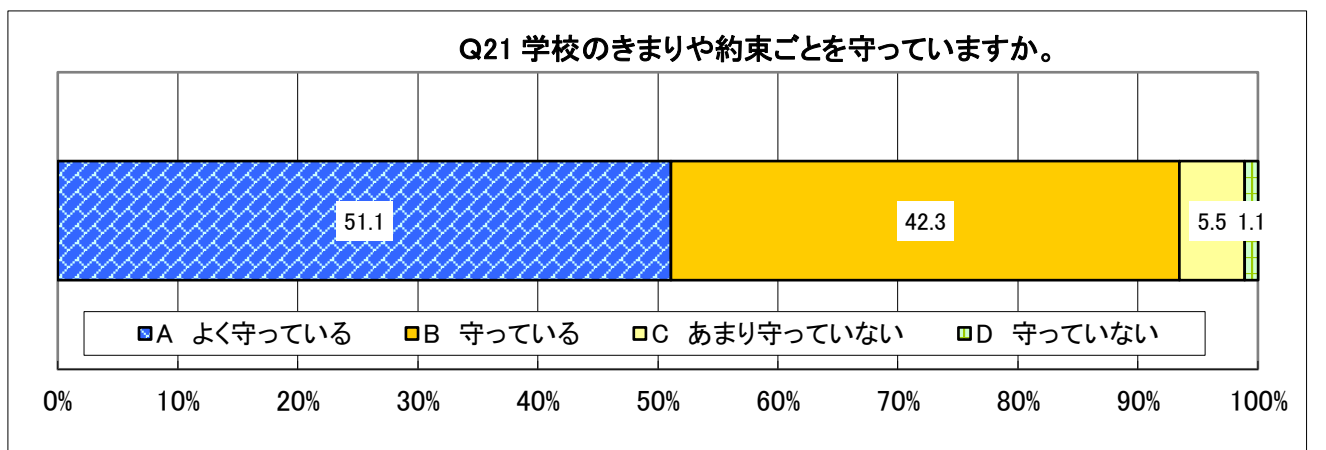
達成状況

- ・教員の自己評価は昨年度と同程度である。2年前と比較すると、肯定的回答が上昇している。
- ・児童の「学校のきまりや約束ごとを守っていますか。」の項目ではA「よく守っている」が5%ほど上昇した。

（28年度）



（29年度）

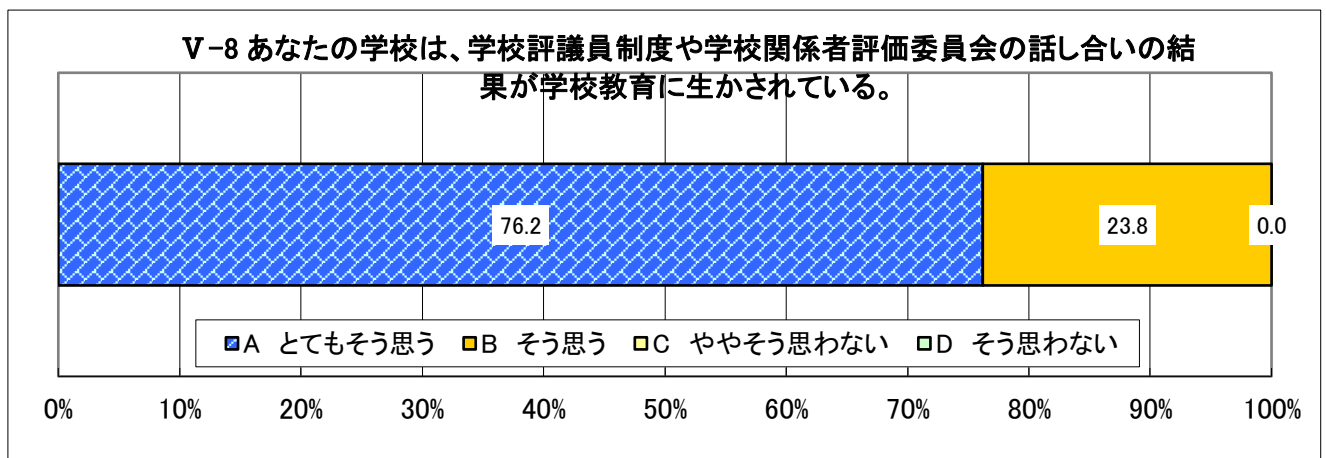
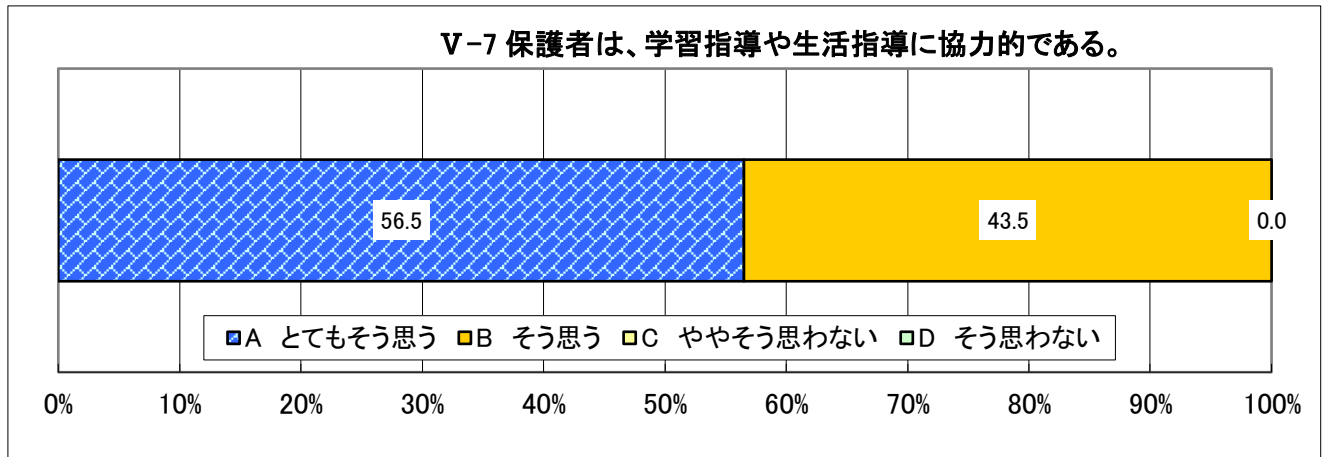


改善策

- ・問題行動が起こらないための未然防止として、今後も児童への声かけを積極的に行い、心の教育を充実させたい。
- ・教職員が相互に連携し、学校としてのきまりや指導重点について教職員が共通理解し、児童の指導を行う。
- ・児童や保護者の悩みや相談に関しては、事案によってはスクールカウンセラーの積極的な活用を促したい。
- ・保護者のアンケート結果も概ね良好であるが、基本的な生活習慣に加え、社会的なルール等のしつけの充実に努めていただきたい。

## V 地域との連携について(保護者アンケート)

- 達成状況
- ・ 教員評価の 8 項目中 4 項目が昨年度より上昇した。
  - ・ 「保護者は、学習指導や生活指導に協力的である。」と実感している教職員が 0.4 ポイント上昇した。このことは、「主体的に PTA 活動に参加している。」と回答した保護者の割合が増加傾向にあることから、地域とともにある開かれた学校づくりに努力してきた結果と言える。
  - ・ 「学校評議員制度や学校関係者評価委員会の話し合いの結果が学校教育に活かされている。」と肯定的にとらえている教職員は、27年度から 0.7 ポイント上昇した。この制度の意義を理解し、改善すべきことに真摯に取り組んでいると言える。



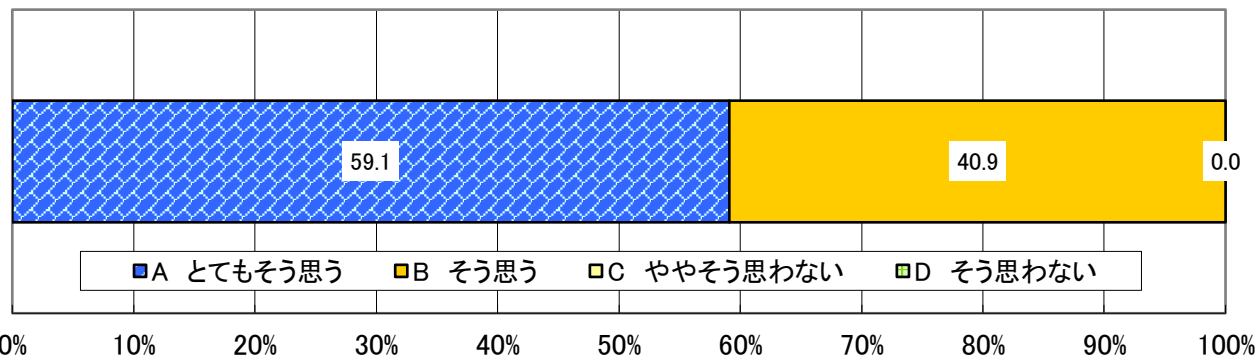
- 改善策
- ・ 全体的には良好な評価となっている。HPの更新や学校評価の公表等、今後もさらに継続していく。また、保護者や地域の方の声に耳を傾け、丁寧に対応するよう今後も心がけていきたい。
  - ・ 多くの学校ボランティアの方々のご協力により、「チーム竜王東小」としての教育活動が行われている。日々の情報を積極的に発信し、「この学校に通わせてよかった。」と多くの地域の方々に思ってもらえるよう全職員で努力していきたい。

## VI 学校の特色について

### 達成状況

- ・学校の特色として、以下の7項目を掲げ、取り組みの成果が向上している。
  - ①児童生徒が進んで挨拶をするよう、指導に努めている。
  - ②授業参観日や学校開放日を保護者や地域に伝え、定期的実施している。
  - ③児童生徒が積極的に読書活動に取り組むよう、指導に努めている。
  - ④あなたは、児童が縦割り活動に進んで取り組むよう、指導に努めている。
  - ⑤あなたは、児童が決まりのよい生活をするためにノーチャイム制を生かした指導に努めている。
  - ⑥あなたは、オープンスペースを活用した学習指導に努めている。
  - ⑦あなたは、はげみ学習を効果的に行っている。
- ・特に⑥のオープンスペースを活用した学習指導や朝の活動として行っている「はげみ学習」が計画的に行われ、成果を上げていると思われる。

VI-6 あなたは、オープンスペースを活用した学習指導に努めている。



### 改善策

- ・児童の学習習慣や生活習慣の定着を図るために児童一人ひとりの実態把握と個に応じた指導・支援を充実させ、学教教育目標に沿った教育活動に粘り強く取り組むようにする。

## 3 まとめ

### 〈成 果〉

- ・「教職員の自己評価アンケート」では、44項目中全てが「A」判定であり、教職員は日々職務の遂行に真面目に取り組んでおり、教育公務員としての職責を果たそうとしていることがうかがえる。
- ・甲斐市において学校評価が各学校で本格的に導入され10年が経過した。このことにより、学校運営が改善され教職員の共通理解のもと、一定の教育水準が保てるよう努力しなければならない。

### 〈課 題〉

- ・個々の児童の学習習慣や生活習慣の定着を図るために、児童一人ひとりの実態把握に努め、教育活動を実践するうにしたい。
- ・「学年・学級懇談会」「学年だより」「給食・保健・図書だより」「個別懇談会」等を通して、家庭との連携を密にし子どもの健全な育成に向けて働きかけていきたい。